

血液内科研修プログラム

I. 研修について

当科では急性、慢性白血病、骨髄異形成症候群、悪性リンパ腫、多発性骨髄腫、再生不良性貧血、血小板減少性紫斑病などを中心に血液全般を診療の対象としている。特に血液悪性疾患においては単一施設として日本でトップクラスの症例数と治療成績を有しており、無菌室 49 床、外来化学療法 55 床など充実した施設をベースに化学療法、自家造血幹細胞移植、同種造血幹細胞移植など日常的に行っている。血液疾患の治療には他の診療科の協力を含めチーム医療が必要不可欠であり、各専門のスタッフと連携を取りながら効果的な治療を提供している。

研修医は、血液疾患について適切に対応するために必要な知識、技能、態度を習得する。具体的には、骨髄穿刺・血液検査等の検査所見を含めた基本的な診断、化学療法・移植治療・感染症管理・無菌室管理等を指導医のもとで研修する。また、症例報告など積極的に行い基本的な発表手技を研修する。

付け加えて、血液悪性疾患の治療は長期にわたり患者につらい治療を課すことも多く、患者・家族に寄り添い共に戦う強い信念が血液内科医には必要である。その一端に触れてもらいたい。

II. 研修の到達目標

全ての臨床医師にとって必須な血液疾患の基本的な理解、正確な診断、適切な検査の指示と治療の実践を研修する。

血液疾患を理解するための知識、適正な診断を行うために必要な専門的検査及び手技を理解修得する。各種血液疾患に対して理解を深め、医療記録に必要事項を正確に記載できる能力を身につける。

III. 診療科情報(医師数・学会認定医・専門医・指導医)

当院HP診療科ページをご参照ください

IV. 施設認定

当院HP病院概要ページをご参照ください

V. 臨床研修指導医講習修了者数

5 名

VI. 1 週間の研修例

	月	火	水	木	金
午前	初診患者の問診 病棟	初診患者の問診 病棟	初診患者の問診 病棟	初診患者の問診 病棟	初診患者の問診 病棟
午後	病棟	病棟 移植カンファレンス	病棟 抄読会、医局会 ML/MM カンファレンス	病棟	病棟 移植カンファレンス ML 病理カンファレンス
その他					

VII. 評価方法

「研修評価方法」参照